

令和3年度 第75回関東高等学校女子バスケットボール大会

令和3年6月13日(日) Aブロック 準決勝 ALSOKぐんまアリーナ Dコート 第4試合

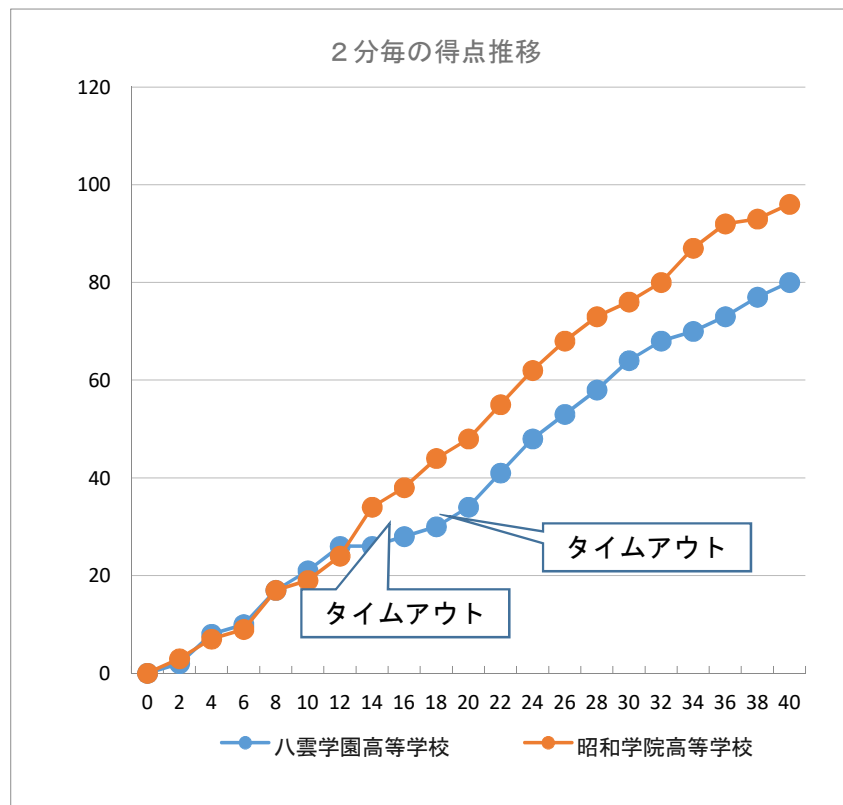
チームA	80	21 1st 19	96	チームB
八雲学園高等学校 (東京都)		13 2nd 30		昭和学院高等学校 (千葉県)
		30 3rd 27		
		16 4th 20		
		OT		

Aチーム： 八雲学園高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	久米田 琉菜	14	1	3	2	20	7	10	4	4	4	8
2	*	5	藪 未奈海	25	0	5	11	21	3	5	2	3	8	11
3	*	6	中村 愛美	23	3	3	7	9	0	1	2	0	1	1
4	*	7	山田 優歩	10	2	9	2	7	0	0	4	2	5	7
5	*	8	三浦 向日葵	6	0	0	3	5	0	1	3	2	3	5
6		9	原 英未	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7		10	タンジャ マロ ナオミ	2	0	0	1	1	0	0	1	1	1	2
8		11	小村 日和											
9		12	田中 愛聖											
10		13	菅野 雅											
11		14	高橋 ここの											
12		15	佐竹 春香											
13		16	オクラン 咲樹 アマ											
14		17	坂原 萌衣											
15		18	崔 杏莉											
HC/TEAM			高木 優子											
合計				80	6	20	26	63	10	17	16	12	22	34

Bチーム： 昭和学院高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		4	西 ファトゥマ 七南	10	1	2	1	4	5	6	2	0	4	4
2	*	5	石橋 花穂	18	2	5	6	13	0	0	3	1	1	2
3		6	エズゴ 梨々杏											
4	*	7	田平 真弥	18	1	2	6	12	3	4	2	2	9	11
5	*	8	花島 百香	19	2	6	5	10	3	3	4	1	6	7
6	*	9	田嶋 優希奈	17	0	3	8	13	1	2	1	0	2	2
7		10	桃井 瑠奈											
8		11	小島 夢生											
9	*	12	アチャラ オゲチ クランシー	14	0	0	7	8	0	1	4	4	4	8
10		13	清水 さくら	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
11		14	小松崎 萌愛											
12		15	殖粟 佳穂	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
13		16	山本 羽南											
14		17	米須 莉奈											
15		18	春川 麗											
HC/TEAM			鈴木 親光											
合計				96	6	19	33	60	12	16	16	8	28	36



戦評 記者：水上 久光 (群馬県高体連)

1Q:両チームともハーフコートディフェンスで試合開始。レイアップシュートで得点を重ねる八雲学園に対し、昭和学院は、#12が立て続けにシュートブロックを決め、八雲学園の得点を止める。しかし、昭和学院のシュートも思うように決まらず、5分経過して10-9と互角の立ち上がりを見せる。その後も一進一退の攻防が続き21-19八雲学園2点リードで1Q終了。

2Q:八雲学園は#8のレイアップシュートで確実に得点。リードするかに思われたが、昭和学院#5が連続3Pシュートを決め、26-32と逆転する。八雲学園のタイムアウト後に昭和学院は、ディフェンスをオールコートプレスに変え、八雲学園のミスを誘いリードを広げる。さらに、昭和学院はメンバーチェンジのタイミングでディフェンス変化させ、ジリジリとリードを広げて34-49で前半終了。

3Q:昭和学院#12の長いリーチを生かしたシュートブロックに苦しめられていた八雲学園は、攻撃の中心をアウトサイドに切り替えて得点する。昭和学院も#12のゴール下のシュートや#7の3Pシュートで対抗し、15点前後の点差のまま時間が経過する。残り1分から八雲学園が4点を取り、64-76と12点差に縮めて3Q終了。

4Q:最終Qに入っても、八雲学園に大きな作戦変更は見られない。3Q同様、互角な攻防が続く時間が経過していく。高さに優位性のある昭和学院が、前半のリードを守りきり、80-96で準決勝に勝利した。

主審	第1副審	第2副審
古畑 香子 (指名)	梶 崇司 (栃木県)	穂川 苑子 (群馬県)